大館市・比内町・田代町合併協議会だより

第10号
2005
1.1

おおだて・ひない・たしろ

みんなで考えよう私たちの未来

6月20日の合併に向けて、去る11月29日に、大館市長、比内町長、田代町長が、合併協定書に調印し、県知事から特別立会人として署名をいただきました。

調印する佐藤賢一郎・比内町長、小畑元・大館市長、吉田光明・田代町長（左から）

1市2町が合併協定書に調印

左から佐藤比内町長、寺田秋田県知事、小畑大館市長、吉田田代町長

大館市・比内町・田代町合併協定調印式が11月29日(月)午前10時30分から秋北ホテル孔雀の間において、合併協議会委員をはじめ1市2町の議会議員など約130人が出席して開催されました。

調印式は出島雄蔵・比内町助役の開式の辞により開会し、来賓の紹介や佐藤忠信・大館市助役によるこれまでの経過などについての報告の後、各首長をはじめ特別立会人の寺田典城・秋田県知事や各市町議会議長により、合併協議会で確認した52項目を記した協定書への署名が行われました。署名終了後は、知事と各首長が固い握手を交わしました。

その後、各首長からのあいさつに続き、来賓の寺田知事と鈴木洋一・秋田県議会議長から祝辞が述べられ、最後は田村正己・田代町助役の閉式の辞により、調印式は無事終了しました。

1市2町の首長が調印した合併協定書

◆各首長あいさつ・来賓の祝辞◆

寺田知事による祝辞

鈴木県議会議長による祝辞

■小畑元・大館市長

１市２町は、少子高齢化など数々の行政課題を一体となって克服するために合併を選択した。合併により行財政基盤をより強固なものにし、先人の築いたこの郷土をさらに素晴らしい郷土にして後世に引き継いでいきたい。新市のまちづくりの根幹となる建設計画により、地域の特性を十分に生かしながら新たな可能性を導きだし、住民の皆様が安心して豊かに暮らしていける新大館市を築き上げていくため、関係者一丸となって計画の実現を目指したい。

■佐藤賢一郎・比内町長

比内町は、住民投票の結果を踏まえながら途中から合併協議に参加したが、大館市・田代町が快く受け入れてくれたことに改めて感謝したい。１市２町は、あらゆる面ですでに一体の感がある。地域が１つとなって新しいまちづくりに邁進すれば、新市は『21世紀に飛翔する環境先端都市』として大きく発展していくものと確信している。今日が新市発足に向けての出発だ。みんなが合併してよかったと思えるよう、これからも一緒に頑張っていくことを誓う。

■吉田光明・田代町長

住民の代表である議会選出の委員、経済界や町民の委員のみなさんと議論を尽くして今日の調印にこぎ着け、万感胸に迫る思いがある。圏域の住民の皆様に合併は成功だったと認めていただくためには、合併に向けた取り組み、そして新市ができてからの取り組みが判断材料となる。今日はあくまでも新市発足に向けた第一歩であり、６月20日の合併に向け、私どもは一生懸命努力する。これからも皆様のご指導ご協力をお願いしたい。

■寺田典城・秋田県知事

調印を目の当たりにし、思い深いものがある。小異を捨て、将来を見越して合併するという決断のもと行動したと思う。各市町議会の議員、協議会委員のみならず、地域住民もそういう選択をせざるを得ないという流れの中で、この合併は進んでいるのではないか。これからもさまざまな手続きはあるが、合併によって夢のある発展のできるまちであってほしい。県としても最大限サポートしていきたいので、何なりと申し付けいただきたい。

■鈴木洋一・秋田県議会議長

自分も大館の一市民であり、調印式に大きな喜びと厳粛な気持ちで参加している。関係者の方々のこれまでの努力に深い敬意を表するとともに心から感謝を申し上げたい。１市２町の合併に向けてのこれまでの道は平坦ではなかった。関係者の努力により協議が続けられ、調印式を迎えられたことは、地域住民が理解を示し、合併を受け入れた結果だと思う。県議会としても、国の動向を注視しながら皆様と力を合わせ、積極的な行動を展開してまいりたい。

各市町議会で合併関連議案を可決

大館市・比内町・田代町の各議会で12月15日、合併に関する議案が可決されました。

今回の合併に関する議案の提出は11月29日の合併協定調印式で、各首長が合併協定書に調印をしたことを受けて行われたもので、「市町の廃置分合について」など4議案について審議が行われました。各市町議会とも賛成多数ですべての議案が可決されました。

これまでの主な経過

平成14年４月～15年２月	大館圏域合併共同研究会（全10回開催）
平成15年４月～７月	任意合併協議会設置準備会（全４回開催）
７月14日	第１回大館市・比内町・田代町・小坂町任意合併協議会 （県の合併重点地域指定を受ける）
７月～８月	新市将来構想検討委員会（全３回）
12月26日	第４回任意合併協議会で、比内町と小坂町の退会を承認
平成16年２月17日	大館市・田代町の各臨時議会において、大館市・田代町合併協議会設置に関する議決
２月17日	大館市・田代町合併協議会設置協議書署名式
３月２日	第１回大館市・田代町合併協議会
５月23日	比内町で合併について町民の意思を問う住民投票を実施 即日開票の結果、賛成が過半数
６月８日	比内町長・町議会議長が、大館市長・市議会議長、田代町長・町議会議長を訪問し、大館市・田代町合併協議会への参加を申し入れ
６月11日	大館市、比内町及び田代町が「合併協議に関する協定書」を締結
６月18日	比内町議会において「大館市・比内町・田代町合併協議会への加入について」を賛成多数で可決
６月23日～25日	大館市議会及び田代町議会において、大館市・田代町合併協議会への比内町の加入に関する議案を賛成多数で可決
７月１日	比内町が合併協議会へ加入
８月２日	第７回合併協議会で、議員の任期・定数の取扱いなどを確認
８月24日	第８回合併協議会で、合併の期日を平成17年６月20日とすることを確認
10月12日	第11回合併協議会で、保育料の取扱いなどを確認
11月８日	第13回合併協議会で、基金の取扱いなどを確認
11月９日	新市建設計画の作成について秋田県知事に本協議
11月16日	新市建設計画の作成について秋田県知事から異存なき回答
11月22日	第14回合併協議会で、新市建設計画案を確認
11月29日	合併協定調印式
12月15日	大館市、比内町及び田代町の各12月定例議会において、廃置分合に関する関連議案を可決
12月21日	大館市長、比内町長及び田代町長が、秋田県知事に廃置分合申請

秋田県知事に合併の申請を行いました

大館市・比内町・田代町は、12月15日に各市町議会で廃置分合(合併)に関する議案が可決されたことを受け、12月21日寺田秋田県知事に廃置分合の申請を行いました。

今後は、県議会での審議・可決を経て、寺田知事が総務大臣へ届け出を行い、4月ごろには総務大臣による合併の告示がされる運びとなっています。

第14回合併協議会内容

平成16年11月22日

第14回協議会が11月22日(月)午後1時30分から田代町総合開発センターで開催されました。

会議では、合併協議会で確認されてきた全項目をまとめた合併協定書について報告された後、秋田県知事への正式協議のため継続協議となっていた新市建設計画の内容について、知事から異存がないとの回答があったことが説明されました。

建設計画については、この知事の異存なしの回答をもって協議会で最終的に確認され、これにより合併協定の全項目の協議が終了しました。

第15回合併協議会内容

平成16年11月29日

第15回協議会が11月29日(月)午前9時から秋北ホテル2階孔雀の間で開催され、同日午前10時30分から開催される合併協定調印式について説明がありました。

合併協定調印式に先立って、首長・議長を除く協議会委員全員が、合併協定書に立会人署名を行いました。

県内の合併協議会の状況

平成16年12月21日現在

1. 既に合併した市町村

人口は平成12年国勢調査

新市町の名称	構成市町村	人口計	面積計(km²)	合併期日
美郷町（みさとちょう）	六郷町・千畑町・仙南村	24,207	168	16.11.1

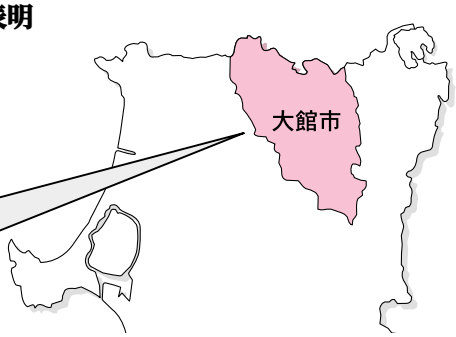
2. 合併を予定している市町村

協議会の名称	構成市町村	人口計	面積計(km²)	新市町の名称	合併予定日
秋田市・河辺町・雄和町合併協議会	秋田市・河辺町・雄和町	336,646	906	秋田市	17.1.11
本荘由利一市七町合併協議会	本荘市・矢島町・岩城町・由利町 西目町・鳥海町・東由利町・大内町	92,843	1,209	由利本荘市 （ゆりほんじょうし）	17.3.22
大曲仙北合併協議会	大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町 協和町・南外村・仙北町・太田町	98,326	867	大仙市 （だいせんし）	17.3.22
湯沢雄勝合併協議会	湯沢市・稲川町・雄勝町・皆瀬村	58,504	791	湯沢市	17.3.22
天王町・昭和町・飯田川町合併協議会	天王町・昭和町・飯田川町	35,711	98	潟上市 （かたがみし）	17.3.22
鷹巣阿仁地域合併協議会	鷹巣町・森吉町・阿仁町・合川町	42,050	1,153	北秋田市	17.3.22
男鹿市若美町合併協議会	男鹿市・若美町	38,130	241	男鹿市	17.3.22
田沢湖・角館・西木合併協議会	角館町・田沢湖町・西木村	33,565	1,094	仙北市 （せんぼくし）	17.3末まで
大館市・比内町・田代町合併協議会	大館市・比内町・田代町	86,288	914	大館市	17.6.20
五城目町・八郎潟町・井川町合併協議会	五城目町・八郎潟町・井川町 ＊1	26,021	280	湖東町 （ことうちょう）	17.10.1
能代山本市町村合併協議会	能代市・琴丘町・二ツ井町・八森町・山本町・八竜町・峰浜村 ＊2	97,047	909	白神市	17.10.11
仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会	仁賀保町・金浦町・象潟町	30,347	241	にかほ市	未定
横手平鹿合併協議会※	横手市・増田町・平鹿町・雄物川町 大森町・十文字町・大雄村・山内村 ＊3	109,004	694	横手市	未定

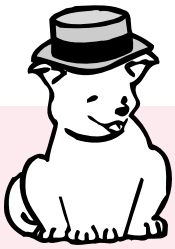
＊1　井川町は12月20日の正副会長会議で、合併協議会からの退会を表明
＊2　能代市は12月10日の合併協議会で、合併協議会からの退会を表明
＊3　増田町は12月21日の合併協議会で、合併協議会からの退会を表明

新市の概要

新市の広さは、おおよそ東西35km、南北50kmで、面積913.7km² となり、人口は86,000人あまりとなります。



ハチとまねき鶏とタケノコ姫



ハチ「忠犬ハチ公が取り持つ縁で、大館市では渋谷区（東京都）と交流しています」

ハチ公は大館生まれの秋田犬。東京で飼われ、主人亡き後も渋谷駅頭に出迎えたという忠犬物語は広く知られています。大館と渋谷の交流は、このハチ公が縁結びとなり始まりました。去る11月に開かれた「ふるさと渋谷フェスティバル」には「きりたんぽまつりin渋谷」と銘打って大館から8回目の参加となりました。1月には「第9回忠犬ハチ公ふるさと秋田大館フェア」（26日～28日、会場・渋谷郵便局）を開き、大館の特産品展示即売や観光PRなどを行うことになっています。また、毎年、大館と渋谷で行われている「忠犬ハチ公慰霊祭」にはそれぞれ関係者が訪れ、交流を深めています。このほか、平成13年1月には「渋谷区及び大館市の災害時における相互応援に関する協定書」を取り交わしています。

渋谷で開催の「大館フェア」では特産品を販売

「広く世界に目を向けてと、比内町では中学生による国連訪問の海外研修が行われてきました」

NYの国連本部を見学。貴重な経験に目を輝かせる

国連訪問研修は、比内町出身で日本人初の国連職員となった明石康・元国連事務次長への表敬訪問を目的に平成3年に始まりました。その後、5年からは、国際的視野を持つ人材育成の機会にしようと、中学生を対象に行っています。今年は比内中学校の3年生、男女8人が参加。米国のジョンソン宇宙センターやホワイトハウスなどを訪れたあと、ニューヨークの国連本部を見学しました。見聞を広げるとともに国際交流の機会となっています。

「田代町では宇宙開発を縁に南種子町（鹿児島県）とユニークな“ロケット交流”を行っています」

田代町にはロケット燃焼試験場、南種子町には発射施設（種子島宇宙センター）があることから、平成4年に交流が始まりました。9年10月には「自然と宇宙を愛する町」として友好町を宣言しています。これまで、田代町からは「たねがしまロケットマラソン大会」へ、南種子町からは「スキー交流」への参加をはじめ、教育、産業、公民館交流などテーマを変えながら12年間にわたって人的交流を展開。南北の距離を越え友好を深めてきました。

町民交流で種子島を訪れ、記念撮影

連山一望

大館・比内・田代

大館、比内、田代の四季折々の風景などを写真で紹介します。

「朝日」（比内町大葛の休間内林道で）
●撮影/田村　康さん（比内町扇田）

「冬の五色滝」（田代町大川目沢）
●撮影／松田　進さん（田代町田茂ノ木）

「冬の夜景」（大館樹海ドームを望む）
●撮影/石田　清美さん（大館市下代野）

「夕焼け」（大館市小茂内で）
●撮影/安部　アイ子さん（大館市茂内）

ホームページが公開されています。http://oht-gappei.jp

これまで開催されてきた任意合併協議会、法定合併協議会の協議資料は全て公開されております。協議案件、会議録、協議会日程、これまでの経過など、ホームページでご覧になれます。また、ご意見、ご提案をお寄せいただくこともできますのでご利用ください。

新市建設計画の冊子（A4版56ページ）をご覧いただけます。

下記担当課に閲覧用冊子を備えておりますので、ご自由にご覧ください。また、各公共施設の端末やご自宅で、合併協議会のホームページからPDFファイルをダウンロードして、ご覧いただくこともできます。

大館市：大館市役所企画部合併推進室、中央図書館、中央公民館、各地区公民館
比内町：比内町役場企画商工課、公民館、公民館図書室
田代町：田代町役場総務課、図書館、総合開発センター

大館市・比内町・田代町合併協議会事務局
〒017-8555　秋田県大館市字中城20番地（大館市役所内）
TEL.0186-49-3111(代) FAX.0186-43-9931
info@oht-gappei.jp　http://oht-gappei.jp

R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。 PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。